第6回沖縄国際映画祭
琉球新報 THE RYUKYU SHIMPO
PR特別版
2014年（平成26年）3月25日（火）
［旧2月25日・友引］
無料［Take Free］
企画・制作／琉球新報社 広告局 〒900-8525 那覇市天久905

成功祝い"笑顔"で閉幕

最高潮 熱狂やまず

5日間にわたってさまざまなジャンルの作品上映会や各種イベントを繰り広げてきた第6回沖縄国際映画祭の「オールエンティング」が24日夜、宜野湾トロピカルビーチで開かれた。沖縄出身の人気バンド「かりゆし58」の歌と演奏の後、映画祭に参加したお笑い芸人、俳優、アーティストが舞台に集結。テーマソング「笑顔のまんま」を客席と一体となって歌い、映画祭の成功を祝った。

次回は来年3月25～29日

沖縄市照屋青年会の力強いエイサーでステージの幕が開くと、登場したMCのガレッジセール・ゴリは「終わりたくない」と叫び、スリムクラブの真栄田も「みなさんの顔、イーよ」とギャグを交えながら、映画祭のクライマックスに興奮を抑えきれない様子だった。

さらに、かりゆし58の演奏が始まると、観客はみな立ち上がって体でリズムをとり大盛り上がり。ボーカルの前川真悟は「那覇祭りのときは2泊3日で泊まり込んだほどお祭り好き。こういう場所で演奏できて最高にうれしい」と喜んだ。3曲目から沖縄のエイサーグループ「風之舞」との競演となり、さらにヒット曲「アンマー」「オワリはじまり」が続くと、会場は歌と演奏に酔いしれた。

最後に出演者全員が舞台に集合。ペナルティや石垣島出身の「きいやま商店」らが「また来年もやりましょう」と声を弾ませた。明石家さんまがVTR出演し、映画祭は赤字です。みなさんのカンパで止めてあげてください」と独特の調子でギャグを発したが、会場の盛り上がりは止まらず、会場も観客も一体となって「笑顔のまんま」を奏い合った。

第7回沖縄国際映画祭は来年3月25日～29日に開かれることが発表され、1年後の再会を輪を咲かせた。

ラストは全員で映画祭のテーマソング「笑顔のまんま」を大合唱

「サンブンノイチ」金石獅子賞に

第6回沖縄国際映画祭の「クロージングセレモニー」が24日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター・シアターで開催され、各部門のグランプリが発表された。受賞結果は別表のとおり。

同映画祭で贈られる賞は、一般審査員と観客の投票で決まる観客大賞「Laugh部門海人（うみんちゅ）賞」グランプリ」と「Peace部門海人（うみんちゅ）賞グランプリ」、特別審査員が両部門の中から1作品を選ぶ審査員特別賞「ゴールデンシーサー賞（金石獅子賞）」、次世代の才能を掘り起こす「クリエイターズ・ファクトリー最優秀賞」。さらに今年から、放送局と吉本興業の共同製作による「TVディレクターズムービー」の作品賞、男優賞、女優賞が加わった。

「サンブンノイチ」で「ゴールデンシーサー賞（金石獅子賞）」を受賞した品川ヒロシ監督は「映画をつくった仲間と喜びを分かち合いたいのに、この場には俺1人しかいない。こんなに分かち合えないものか」と喜び と困惑の表情を浮かべながらも、この機会を利用して「吉本興業の大崎社長、次回作のためにお金を出してください」とちゃっかりおねだりしていた。

審査員の中島貞夫委員長は「多彩な作品が出品されたが、『サンブンノイチ』には新しいエネルギーが生まれる可能性を感じた」と評していた。

「サンブンノイチ」で栄光に輝き、シーサー像を掲げる品川ヒロシ監督。左奥は中島貞夫審査委員長

受賞作品一覧

【Laugh & Peace】
▶Laugh部門海人賞グランプリ
「超高速！参勤交代」（本木克英監督）
▶Peace部門海人賞グランプリ
「怪しい彼女」（ファン・ドンヒョク監督）
▶ゴールデンシーサー賞（金石獅子賞）
「サンブンノイチ」（品川ヒロシ監督）

【TVディレクターズムービー】
▶最優秀作品賞
「LOVE SESSION」（板谷栄司監督）
▶最優秀男優賞
中村獅童（「振り子」）
▶最優秀女優賞
小西真奈美（「振り子」）

【クリエイターズ・ファクトリー】
▶最優秀賞
「いなべ」（深田晃司監督）

シーサーだより

無事に第6回沖縄国際映画祭が幕を下ろした。きょうからは早くも第7回沖縄国際映画祭の準備が始まるのだ▼継続は力なり。「50回を超えられなかった世界各地の映画祭は山のようにある。思いつきで浮かべる夢は絵に描いた餅だ。だが5回持ちたえればその映画祭の独自カラーがうっすらと発現し、周囲の見る目もカラリと変わる」（奥山和由エグゼクティブディレクター）▼今年からは新たに民放キー局のテレビディレクターが参加する映画に対しグランプリを設けることになり「LOVE SESSION」が初代の栄冠に輝いた▼クズベはLaugh&Peace部門、TVディレクターズムービー部門、クリエイターズ・ファクトリー部門と三冠の未来への切符がクロージングセレモニーで授与された。ここから世界へ羽ばたくクリエイターやスターが生まれることを期待したい▼昨年のクリエイターズ・ファクトリー部門を制した杉野希妃は、吉本興業出資の新作「マンガ肉と僕」をすでに監督・主演で撮影している。最初の果実か！▼さらに今秋には京都国際映画祭がスタートする。「〝人間〟って素晴らしい〟を無条件に感じさせてくれるもの。それが映画！」が持論の奥山和由エグゼクティブディレクターが指揮を執り、沖縄と緊密な連携を図る。京都、沖縄、半年単位の才能発掘リレー祝祭宴。アジア市場への離陸体制が整いつつある。

（麻生香太郎）

総立ち 興奮るつぼに

ノンストップパフォーマンス祭り 豪華舞台 5時間超

最終日となる24日、ライブなどが融合した豪華アーティストのライブと、芸人のお笑いKU PRESENTS ノンストップパフォーマンス祭り」がDE−V、きいやま商店なども参加した。

ビーチステージで開催され、5時間以上にわたって熱いステージが繰り広げられた。

トリにORANGE RANGEが登場すると、会場は総立ちで大盛り上がり。ボーカルのHIROKIは「海に囲まれたこんなすてきなステージに立てて最高です！」と心機嫌な様子。「ロコローション」「上海ハニー」といったヒット曲を次々と披露し、会場を興奮の渦に巻き込んだ。ステージにはTMKY、具志堅ファミリー、i−mama、COLORS、ちいさかっぱ、ちいさかっぱ、ちいさかっぱ